

第 2 2 回 運転管理検討会 議事録

1 . 開催日時：平成 2 0 年 6 月 2 5 日 (水) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0

2 . 開催場所：日本電気協会 4 D 会議室

3 . 参加者 (順不同 , 敬称略)

委員：幅野・富田 (東京電力) , 坂元 (関西電力) , 浦野 (日本原子力技術協会) ,
市川 (電源開発) , 長谷川 (北海道電力) , 池田 (北陸電力) , 井川 (中部
電力) , 山崎 (日本原電) , 陸浦 (中国電力) , 村上 (四国電力) , 宮北 (BTC) ,
勝矢 (NTC) (計 13 名)

代理出席者：佐久間 (東北電力・飯塚代理) , 河津 (九州電力・笠代理) (計 2 名)

オブザーバ：米津 (日本原電) , 天野・上田 (原産協会) (計 3 名)

事務局：大東 (日本電気協会) (計 1 名)

4 . 配付資料

資料 22-1 運転管理検討会委員名簿

資料 22-2 第 21 回運転管理検討会 議事録 (案)

参考資料 1 第 15 回運転・保守分科会議事録 (案)

参考資料 2 第 28 回原子力規格委員会議事録

5 . 議事

(1) 会議定足数の確認について

事務局より , 委員総数 15 名に対して本日の出席委員数は , 代理委員も含めて 15 名で , 検討会決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の出席が確認された。

(2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について

上記 , 代理出席者 2 名およびオブザーバ 3 名の会議参加並びにオブザーバからの意見陳述について , 検討会主査から承認された。

(3) 前回議事録 (案) の承認

事務局より , 資料 22-2 に基づき , 前回の検討会議事録 (案) が紹介され , 承認された。

(4) 第 15 回運転・保守分科会議事録 (案) および第 28 回原子力規格委員会議事録の紹介

事務局より , 参考資料 1, 2 に基づき , 第 15 回運転・保守分科会議事録 (案) および第 28 回原子力規格委員会議事録が紹介された。

(5) JEAG4802 の改定作業の方向性について

JEAG4802 の改定作業の方向性について議論を行った。今後の方針としては , 運転責任者の規定箇所については除外 シミュレータ仕様に関する箇所について最新の ANSI 知見を取り入れ独立した JEAG へ移行 , という方向性で改定作業を行っていくこととなった。

主なコメントは、以下のとおり。

a．運転責任者用，自社の教育訓練用と，シミュレータごとにグレードがあるのではないか。「運転責任者用以外のシミュレータ」などの表現により，既存のシミュレータを教育訓練に使えるようにしてほしい。

b．現在，シミュレータの性能は JEAG4802 に書いてあるが，それに適合していないシミュレータがおそらく各社にあるのではないか。適合していないシミュレータによる訓練は認められないということになると困る。

運転責任者の免許更新のための訓練は，試験に用いたものと同じ精度を持ったシミュレータで訓練しなくてはいけなくて，BTC，NTC で行っている。自社のシミュレータにそこまでの精度を求める必要はない。

今回の改定で目指すのは，最新の ANSI を取り入れて，今後の運転員の教育訓練用シミュレータ新設時の拠り所となるものを作ることである。

縛りになってしまうと困るが，拠り所になるものはあった方がよい。教育訓練用シミュレータ仕様の拠り所となるガイドの形がよいのではないか。

バックフィットを求められた時のことも考慮すべきである。

c．何のために規格を改定するのかを整理した方がよい。

d．JEAG とするか，JEAC とするかを検討する必要がある。

JEAC4804 にシミュレータを呼び込んでいるので，シミュレータ部分はコードに準ずる扱いとなるのではないか。

コードでもガイドでも，シミュレータに求める性能は，運転員の訓練や試験などであり，求める性能は同じである。維持，運用，管理の方法などを考えた上で，コードとするかガイドとするか決めるべきである。

コードとして外出しの形で運転責任者用シミュレータ部分を定めると，教育訓練用シミュレータに関するものがなくなってしまうので，おかしい。

運転責任者用と教育訓練のシミュレータが，あからさまに違うということは言えない。

教育訓練プログラムそのものはガイドで規定して，教育訓練の一つのツールであるシミュレータをコードで規定するとしたら，アンバランスではないか。

現状の JEAG4802 の内容を教育訓練に関するソフトとハードで分離することとして，ガイドを分離するので分かれたものも両方ともガイドとして整理するということがあるか。

分離させておけば，教育訓練プログラムを変更することになった場合，一つだけを改定すればよいことになる。

現状のものを分離して，JEAG4802 は教育訓練プログラムを扱ったものとなり，新しいものはシミュレータを扱ったものとなるとすると，両方が同時に完成しないと困ることになる。

分離した場合，他の認証関連でツールの仕様をどのように扱っているのかなど，他の規格とのバランスに配慮するべきである。また，分離する理由を明示する必要がある。

る。

H20 年度活動計画を分科会で審議した際に、JEAG4802 にシミュレータの最新知見を反映して欲しいとコメントがあった。管理するために分離して、更に最新知見を取り入れたという形が望ましい。

(6) その他

a . 次回運転管理検討会は、別途、日程調整を行なうこととした。

以上